

2011なはモビリティウィーク&カーフリーデー

～ 自転車に乗って感じる なはの街めぐりツアー ～ 参加者募集

1. 目的・趣旨

「車に頼り過ぎない暮らしを考える」2011なはモビリティウィーク&カーフリーデーのイベントの1つとして、自転車でゆっくりなはの風景を楽しみながら街をめぐり、また、自転車の安全な乗り方を学ぼうという企画です。

その時に感じたこと、例えば「この辺の場所は景色がすばらしいな～」「ここは路肩もなく歩道もせまいため自転車では走りにくいや・・・」「木陰もなく暑いな～」等の感想を簡単なアンケート用紙に記入してもらい、今後の那覇市内の自転車走行空間、市民や観光客への自転車利用環境の改善などまちづくりに反映をさせたいと考えています。

2. 日時；平成23年9月24日（土）11：00～






3. 集合場所：さいおんスクエア

4. 参加人数；48名程度予定（全3コース、各コース2班、各コース8名程度）参加費は無料

5. 当日行程；

時 間	内 容
11：00	さいおんスクエア 集合 出発式
11：30	自転車マナー教室
12：00 ～	各コースに分かれて自転車まちめぐり
16時頃到着	さいおんスクエア到着（指定時刻はありませんので、各コースで臨機応変に対応）

6. 各コース内容

	第1コース（西海岸から空港方面へ海の香りを満喫するコース） （経由地・主な施設） 新都心、安謝、波の上、セルラースタジアム那覇、ゆいレール展示館、R58 など
	第2コース（首里の史跡から識名トンネルを回り那覇の坂を楽しみ、チャレンジするコース） （経由地・主な施設） 栄町、繁多川、首里金城町石畳、首里城公園、識名園、識名トンネル、与儀公園 など
	第3コース（緑豊かな都心部らくらくコース） （経由地・主な施設） 美栄橋、R58、福州園、波の上、那覇港、がじゃんびら公園、セルラースタジアム那覇壺川、与儀公園 など

※各コースについては、別紙ルート図を参考にしてください。

7. 申し込み期限；（定員に達しだい締め切ります。）

申込み先；那覇市 都市計画課 交通計画グループ 担当 高嶺、宮城 TEL 951-3246

8. その他

- ①参加者は、当日、My自転車でさいおんスクエアに集合です。
- ②自転車を持っていない方でも、無料レンタサイクルを借りて参加可能です。（要身分証明）
- ③当日の服装は軽装でお越し下さい。また、熱中症予防のために飲み物を準備してください。
- ④事故等万が一のために、保険に加入しますが、ヘルメットや手袋の着用など、安全第一を心がけてください。
- ⑤参加特典として、カーフリーデーのゆいカードを配布します。

2011自転車に乗って感じる なほの街めぐりツアー ~ 各コース基本ルート図

福州園（無料）
見落とされがちな庭園は意外にも、沖縄と中国との歴史的關係を物語るシンボリックな存在である。



泊いゆまち（無料）
水産物総合センター「泊いゆまち」は、毎朝水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が豊富に揃っております。センター内には24店舗もの水産物中卸業者が軒を連ねている。



県立博物館・美術館
常設展『海と島に生きる一豊かさ、美しさ、平和を求めて』や、ふれあい体験室などがあります。



水の資料館（無料）
ウォータールート、ウォーターサロン、ヒストリールート等が展示されている。



首里城公園
地元の人はあまり行くことが少ないので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。



那覇市歴史博物館
琉球王朝文化と那覇の歴史に関する文化財などを中心に展示している。



首里金城町
県の史跡・名勝に指定された石畳道や、伝統的な木造瓦葺の村屋、大アカギ群等がある。少し自転車を降りて、散策も良いのでは。



がじゃんびら公園（無料）
市内西部を一望でき、美空ひばり「花風の港」の歌碑もある。歌碑の前に立つと、スピーカーから美空ひばりの曲が流れる。



集合場所
さいおんスクエア

壺屋焼物博物館
壺屋焼をはじめとする沖縄の焼物の歴史を展示、また壺屋焼の製法や技法を解説している。

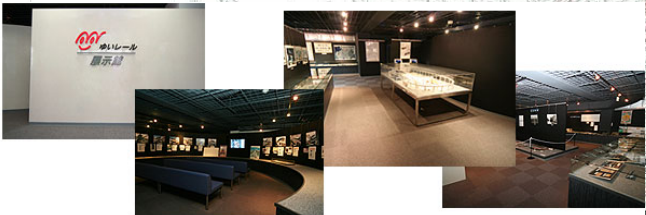


識名トンネル

識名園
2000年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。



ゆいレール展示館（無料）
1階がゆいレール関連のフロア、2階が鉄道関連のフロアになっている。展示数は約400点あり、2階には鉄道関連用具や各種切符等の展示、戦前の沖縄を走っていた軽便鉄道関連の展示等もある。



沖縄セルラースタジアム那覇
県内唯一のプロ野球公式戦が可能な野球場。読売巨人軍のキャンプ地となっています。



(コース凡例)

- 第1コース（西海岸から空港方面へ海の香りを満喫するコース）
- 第2コース（首里の史跡から識名トンネルを回り那覇の坂を楽しむチャレンジするコース）
- 第3コース（緑豊かな都心部をくらくらコース）



「この地図は、沖縄県知事の承認を得て、同県発行の2,500分の1の都市計画図を複製したものである。(承認番号) 沖都複平8-16号」